

🌸 平成26年度 🌿

🌟 金賞



H26
年度

「北野天満宮」

荒巻 あゆみ

北野中学校

私は、北野天満宮という神社を描きました。この神社は、北野町にとっても古くからあって、たくさんの歴史があります。そして「おくんち」というお祭りがあり、父や弟も長年参加していて、お祭り当日のにぎやかで活気あふれた感じがとても好きです。他にも、「うそかえ祭」や「よど祭」など、色々なお祭りがあり、たくさんの人が参加して、伝統を守っているのですごくいいことだと思います。とても大切にされている北野天満宮は北野町の自慢できるものだと思います。



銀賞

「かっぱえきから列車」

熊本 祐斗

田主丸小学校

ほくは、列車がすきなので、この絵をかきました。



「筑後川」

笠野 群

小森野小学校

筑後川での魚どりのようすをかきました。あみてたくさんのお魚をとっているのがたいへんそうでした。くふうしたところは、いろいろな大きさのお魚をいかたり、色をかえたりしたところ。また、はしのうえのくるまや、はしをかくことがむずかしかったけれど、じょうずにかけたのでうれしかったです。らいねんも、さかなどりにいってみたくまりました。

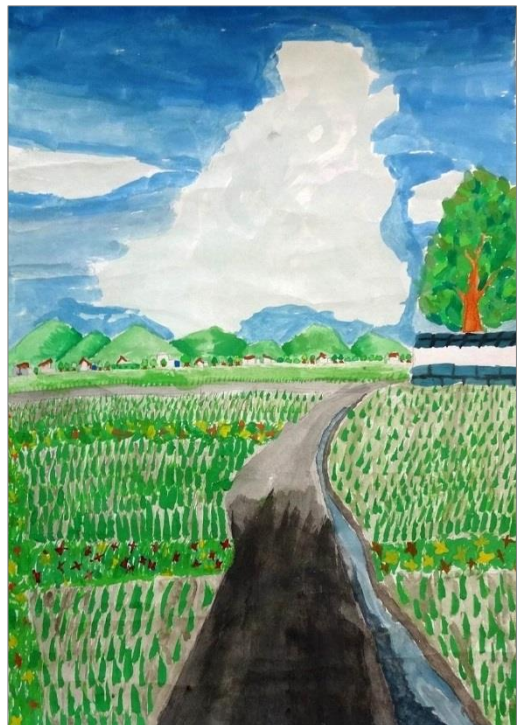


「夏のはじまり」

鹿野 友加里

田主丸小学校

“美しい風景”それは、富士山や海しかないと思っていた。自然はごみで破かいされ、なかなか身近な景観はないので、とほくに暮れていたら、日がでてきて暑くなり顔をあげてみると入道雲がまるで、私に「大丈夫？」と話しかけるように空にうかんでいるのに気がつきました。「これだ！！」と思いこの絵をかきました。入道雲は下書きをせずに絵の具で直接かきました。遠近感を出すために道路は手前を太く大きく、遠くは細かく小さくかきました。一番難しかったところは遠くにある小さな小さな家です。下書きでは上手くかけたけど絵の具でぬるときに細かい筆で細かくかくのが難しかったです。下書きだけで2日かかったけれど、私の身近な景観をだれかに伝えたかったので一生けん命かきました。主に、緑、青、白、黒で描きました。その場にいる気分になってごらん下さい。



「鬼のふん水」

島 秀暢

城島中学校

鬼のこわい顔が、かっこよかったからこの絵をかきました。



H26
年度

「水天宮」

能塚 桃子

荒木中学校



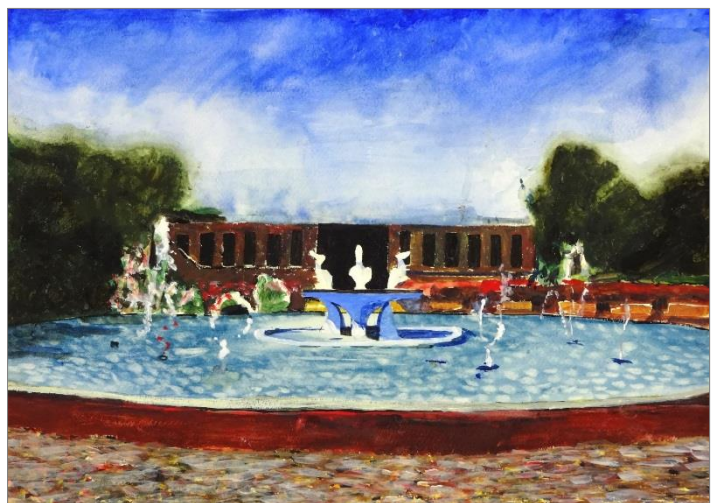
久留米のきれいな風景が「水天宮」にはたくさんあると思ったからです。久留米には、きれいで歴史ののこる「久留米駅」などがありますが、緑のはえりい風景としては「水天宮」が、ぴったりあっていると思いました。そして、私達の住むこの久留米には美しく、なおかつすばらしい「筑後川」も流れています。その筑後川が少しですが、かくことができるように、この角度から見た風景を描きました。

「ペリカンプールにて」

猪口 菜月

北野中学校

水しぶきが、きらきらと落ちていく水のしぶきにしばらく見とれていました。スケッチしたい場所をさがしていたので、ここを選んでみようかと思いました。時間がたつにつれて日差しが強くなっていったので、水の色と空の色がだんだん違ってくるのが分かりました。絵をかいていくうちに、少しずつ石橋美術館のよさも分かってきたような気がしてきました。美術館をバックにして、ペリカンをかいてみたいと思いました。水しぶきがとてもきれいにこはねていました。



銅賞



「たぬしまるえき」

岩佐 秋音 田主丸小学校

わたしがすんでいる、たぬしまるまちのだいすきなばしょをかきました。かっぱさんが、てをあげてあいさつをしているようにみえます。わたしは、かっぱえきのかっぱがだいすきです。



「みどりのたんぼ」

木下 絢乃 川会小学校

いいちゃんのたんぼと、いいちゃんが、きをきるところをかきました。



「かっぱえき」

古賀 寛人 田主丸小学校

ぼくのいえの近くのかっぱえきは、かっぱのかおのかたちをしています。ばくはかっぱえきを見ると元気になります。かっぱえきのおくには山が見えます。ぼくはかっぱえきと山のくみあわせがいいと思います。



「みんなが大好きかっぱえき」

吉田 心咲 田主丸小学校

ゆふいの森ごと、セつぼしがおるからかこうと思いました。



「かっぱえき」

弓削 星稀 田主丸小学校

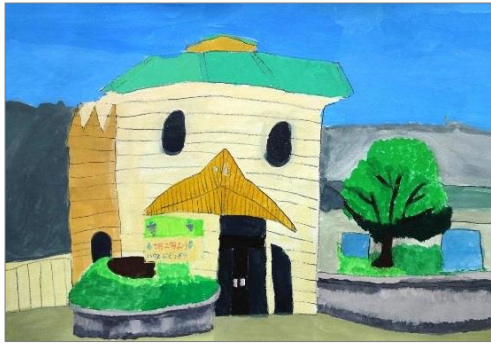
かっぱえきがいえのちかくにあるので、そのしゃんをとってしゃんを見ながら絵をかきました。



「まい日見るけしき」

小じま いずみ 田主丸小学校

わたしいえからは、みのうれんさんやどこまでもつづく田んぼ、それときれいなみどりがよく見えます。わたしはそのけしきを見たらとてもきもちよくなります。わたしは、まい日見るけしきが大すきだから、この絵をかきました。



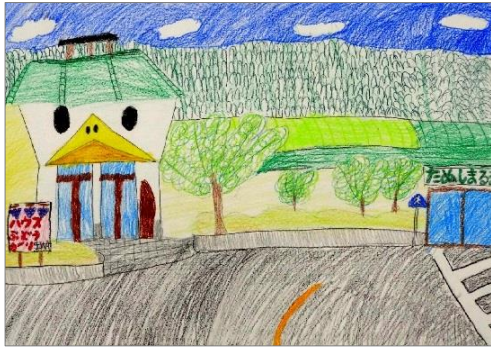
私の住んでる田主丸町は、むかしかっぱが住んでたことでゆめいな町です。わたしは、このかっぱえきを見てかわいいと思いました。だから、かきました。

「かっぱかわいいかっぱえき」
ごんどう ななみ 田主丸小学校



ぼくの町はかっぱで有名です。町の中に、たくさんのかっぱがいます。その中でも、一番大ききでかわいいかっぱ駅をかきました。くろしたのは、かっぱ駅の屋根です。かわらをかくのがむずかしかったです。

「大すきなかっぱえき」
原田 真澄 田主丸小学校



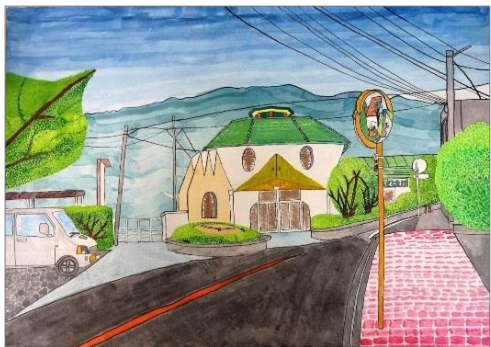
ぼくのすんでいる田主丸町は、かっぱがゆう名で、いろんな所にかっぱのどうぞうやおきものがおいてあります。そして田主丸えきもかっぱの形をしたえきになっています。そんなかわったえきをかいてもっと田主丸町の事をみんなに知ってもらいたくてかっぱえきをかきました。

「かっぱえき」
安部 准 田主丸小学校



ゆめいなカッパがいるからカッパ駅ができたんです。

「田主丸カッパ駅」
中の たくみ 田主丸小学校



私の町には、河童伝説があります。九千ぼうという、河童がまつられている神社もあります。夏には、河童のみこもあります。町のいたるところに河童がいます。その中でも1番好きな河童は、JR田主丸駅、通称「河童駅」です。このことをもっとたくさんの人に知ってもらうためにこの景観を作品にしました。

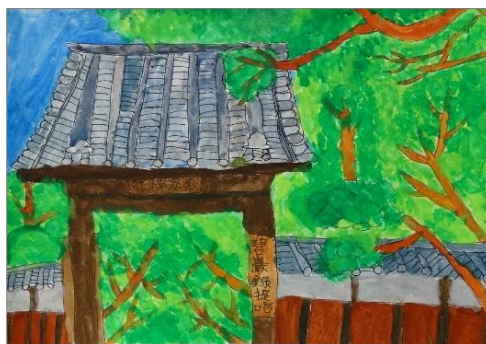
「私の町の駅」
原田 涼音 田主丸小学校



田主丸の有名なえきですごく人気があるから、くふうしたところは、木をくふうしました。色んな色をつかってカラフルにできました。あと山も工夫しました。ガタガタなるところを、すみでガタガタにしました。

「かっぱえき」
中の しゅうや 田主丸小学校

「梅林寺」
笠野 れいさ 小森野小学校



わたしは、絵の木やかかわらをくふうしました。いろをかえたりしてくふうしました。またもっとむずかしい絵をかきたいです。

「お宮」
境 万央 江上小学校



家の近じよにあつて、よく遊びに行きます。絵をかいてみたたくかきました。

「文化センターの池のかも」
檜 花蓮 小森野小学校



わたしがこの文化センターの池のかもをかいた理由は、自ぜんがいはいあって「いいな」と思ったからです。かくときに一番むずかしかったのは、池をかくことと、木をかくことです。かもの羽をかくのは、ちよっとしっばいしてしまつたなど思つました。池は思つたより、よくかけたと思つます。

「坂本繁二郎アトリエ」

檜 しおん 小森野小学校



わたしがこの絵をかくことにしたかという、はじめ写真を見たとき、けしきがとてもきれいできにいつたのでこの絵をかくことにしました。かくときは色をぬるところ、とくに葉っぱをかくところがむずかしかつたです。かきおえるときは夏休みさいごあたりだつたので、おわるかたいへんだつたけどこの絵をかいてよかつたです。

「田植え」

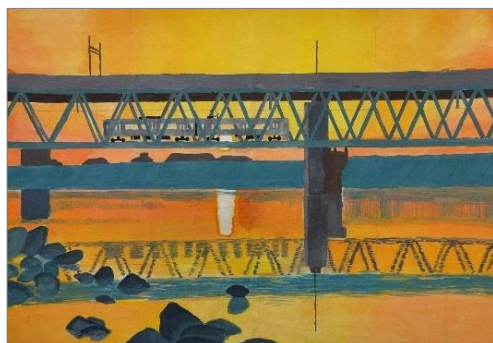
野田 航希 江上小学校



五年生でなえを植えたときの様子をかきました。

「夕日に染まる筑後川」

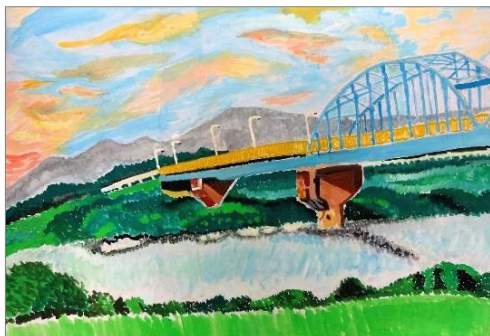
高着 泰輔 三瀬中学校



幼い頃から、筑後川の風景を見てきましたが、夕焼けの、太陽が地平線に落ちる瞬間の空がとても美しかったので、是非描きたいと思つていました。空のグラデーションは、夕焼けの印象が出るように少しずつ色を赤しながらだんだん色が濃くなつていく空の様子を再現しました。また、反射する川のもやもやとした所も工夫しました。

「思い出の宮ノ陣橋」

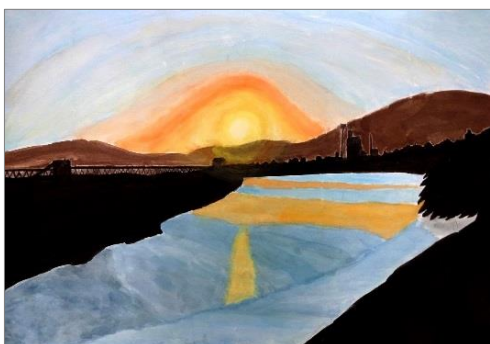
坂田 智啓 榊原中学校



昔、この宮ノ陣橋の近くでサッカーをしていて、この作品では、サッカーをしていたころのことを思いながらかきました。そして、百年公園から見たこの夕焼けの風景は、心がいやされるように感じます。またこのかせんじきは、緑あふれるような草原のように見えて、まさに草原にいるかのような気分になります。深呼吸をしたとき、いかに緑だな、そう考えてサッカーの試合などもきゅうけいの時、心を入れかえてのぞみました。

「筑後川からの夕日」

市丸 詩織 榊原中学校



夕方、車で筑後川の近くを通っていたら、夕日が見えて筑後川と夕日が見えたり素敵でした。建物や木は見えにくくなり、夕日と筑後川だけがよく見えてロマンチックな感じがします。昼に筑後川を見たときは何も感じられなかったけれど、夕方見ると、こんなに違うのかと思うくらい筑後川が美しく見えました。夕日の方はすごいと改めて感じました。この気持ちを絵であらわしたいと思い「筑後川からの夕日」を描きました。

「久留米のデパート」

吉原 知夏 榊原中学校



この景観を作品にした理由は、久留米の昔からある建物で今も残っているからです。この絵では、特に木をぬるところや文字など、こまかい部分をかくのが難しかったです。いつもなにげに見ている風景でも、こうして絵にかいてみると、こんな風に見えるのだと改めて知ることができました。

「もうすぐ別れる場所」

坂田 竜也 榊原中学校



自分は、もう中学3年生で卒業する年なので、中学校最後の夏休みにこの校舎を描いて、少しでも思い出にできればと思って描きました。また、この校舎を高校へ行っても忘れることがないようにと思ったからです。

「石橋美術館外観」

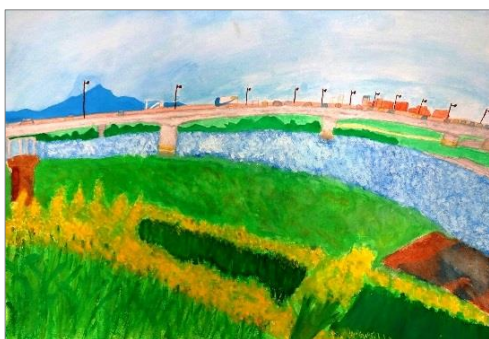
池田 康典 榊原中学校



作品にした理由はとてもきれいで、美しい光景だったからです。また、家が近くて美術館をかいいたらいいかなと思ったので描きました。難しかった点は、壁の部分をたくさん点を書くことで表現することです。こまかくやるのは(ろう)したけど、がんばれたのでよかったです。もう一つは、池にほんやりと建物をうつしているように表現することです。あとは植物や木々もなるべく本物みたいに見えるように緑と黄緑を交互に使ってかきました。美術館は正面から見るのがほとんどなので、裏側にあるすばらしい光景を皆に見てもらって、そのすごさを知ってほしいと思ってこの絵をかきました。

「思い出の場所」

吉田 実紅 榊原中学校



この絵を描いた理由は、家のすぐ近くにこの川があって、小さい時から河川敷によく遊びに行っていて馴染みのある大好きな場所だからです。また、有名な川でもあるので、この町の大切な宝物だと思ったからです。今では、部活動や習い事などで行く時間ありませんでした。でも、この美術の課題で行けなかった筑後川に行けることができました。それに、絵に描くことで細かい所まで見ることができ、前と今と違う所や変わっていない所など、たくさん観察することもできました。

「城島の鬼瓦」

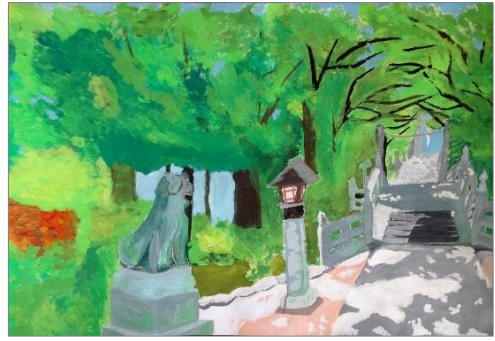
徳永 竜司 城島中学校



鬼の顔がいい表情をしているなと思ったのでこの絵をかきました。

「水天宮」

江上 初音
荒木中学校



私自身、正月や花火大会などでよく利用しているので、久留米市の中でも一番身近なところだったので描きました。水天宮のお祭りにも何度か行ったことがあるので、水天宮の木が四季によって変わるのを見ていましたが、あまり気にしていなかったので、今回、この絵を描くことで、気にとめることができ、私としても良い機会になったと思います。写真をとった時期は少し紅葉がはじまっていて、季節の移り変わりがわかる良いものでした。

「水天宮」

田中 未咲
荒木中学校



久留米市の風景をかけたと言われ最初に浮かんだのがこの水天宮でした。小さい頃、よく祖母や母につれられ水天宮へと来ていました。また、祭りのある日はよく家族やいとこたちこの水天宮へと、おまじりに来たりしました。普段、たくさんの緑で囲まれてとても静かな水天宮が、ちょうちんなどで華やかにかざられ、たくさんの人でにぎわう水天宮は、とても楽しい思い出でした。なので、今回思い出がたぐんつまったこの水天宮をかこうと思いました。

「高野産八幡宮」

西尾 英万
榊原中学校



近所にあるっていうのと、描きやすそうだなと思って高野産八幡宮を選びました。それと、建物自体の色は赤と緑と華やかで目立ちそうな色合いなのに、大木に囲われているせいか、色合いとは逆にあまり目立たず、閑散とした感じなのがまたギャップみたいでいいなと思いました。普段は地味に建っている感じだけど、この絵の中の高野産八幡宮は快晴の真青な空の下で堂々として建っているのがこの絵の魅力だと思います。

「RHYTHM of GREEN」

池田 賢広
榊原中学校



1年生のときにもこの景観を描いて、なかなか思い通りに描くことができませんでした。そして、もう一度この場所を描こうと思ったのは、石橋文化センターのバラ園を見てきれいだったからです。画用紙いっぱい描いたので細かいところを描くのが大変だったけれど、最後まであきらめずに丁寧に書くことができたのでよかったです。一番に時間をかけたところは、ラベンダーの花や美術館の壁などです。たくさん色を重ねて描きました。

「高良大社」

近藤 ひかる
荒木中学校



高良大社のあざやかな色合いを、描いてみたいと思いました。頑張ったところは、こま犬です。立体感を意識しました。濃い色が多かったので、ぬるのが大変でした。高良大社は、木々の緑と、建物の赤の組み合わせがキレイだと思います。描くときに、緑に様々な色を使って、深い感じを出そうと、がんばりました。シンメリーで迫力のあるたたずまいだったので、画用紙いっぱい描きました。

「水天宮 正面鳥居」

塚本 莉奈
荒木中学校



久留米の風景といえば、一番に水天宮が頭に浮かんだので、水天宮をかきました。水天宮は参拝客もよく来るので、久留米の象徴的な建物といってもいいと思います。歴史ある建物でもあると思うので、水天宮をかこうと思いました。

「筑後川」

寺崎 莉維愛
北野中学校



自転車で走っていたら、筑後川のていぼうで広い草原のおこうがわに耳納連山が見えました。おろてみて、細い道をのんびり歩いてみました。川の水がゆっくりに流れていて、歩いていると時間がゆっくりに流れるような気がしました。川と同じ速さで歩いてみようという気になりました。とてもみちたりの気持ちかして、筑後川が自分の町にあってとても幸せな気分でした。

「筑後川」
東海林 奈々美
北野中学校



この絵を描いた理由は、毎日のように目にしている筑後川だけど、夕方またま目にした景色が、空の色が川の水に反映されていて、とても美しく感動したからです。自分の住んでいる町にこんなにも美しい景色があったんだととてもおどろき、感動しました。川の水の量が増えたり減ったりすると川の表情がまったく違うものになる事にも、おどろきました。今まで、じっくり筑後川を見たり観察したりすることがなかったので、とてもいい体験ができたと思います。

「赤い橋と筑後川」
内山 望
北野中学校



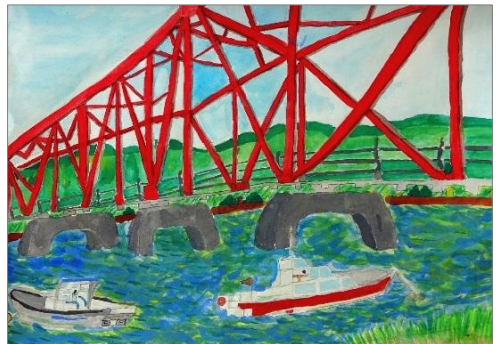
ものすごく晴れた日に筑後川をさんぽしていたら、青い空に赤い橋が架かっていてものすごくきれいな1日がありました。スケッチする場所をさがしていたので私はすぐにここに決めました。雲の形がどんどん変わっていたので、一番きれいに見える場所で急いで筆をはずせました。雲の動きがとてもはやかった。私は雲のスピードを追うので必死でした。

「大城橋」
中垣 凜音
北野中学校



毎日、通学で使っている大城橋を、毎日表情が変化する筑後川と一緒に描こうと思い、土手を下りました。心地良い風と爽やかな空気、優しい波の音など、自然の美しさを感じました。場所を決めてからしばらくの間、景色に目を奪われていました。普段と視点を変えて見ると、全く違う風景になりました。久留米市の素晴らしい自然を身近に感じることができ、うれしかったです。

「夏の六五郎橋」
福井 仁生
浮島小学校



この赤い橋を絵にしたら、とてもいい絵になると思ったのでこの六五郎橋を描きました。工夫した所は、橋の遠近感が分かるようにする所です。また、川の流れが分かるように筆で点を描くようにしました。太陽の光がうつるようにするために川に黄緑色も入れました。そして、山が夏らしく見えるように、木が青々としげっているようにしました。

「コスモスパークでボランテア」
矢野 愛優香
北野中学校



コスモスパークでのゴミ拾いで、地球をよきようとする行動がすばらしいなどと思って、この絵を選びました。あと、この風景が好きだからです。川にうつる草むらが気に入ったので、ゴミ拾いをしている行動と景色を絵に描いてみました。とても難しかったです。川にうつる草が川にうつるようになるには、とてもこまかくかくいて、影のつきかた、空の色をうすく、いい色がでたと思います。どこでもかくのがこまかくぬって、時間がかかりました。色をつくるのが難しかったです。コスモスパークの雰囲気を出すが色でだしたりして、影の色をくべって、コスモスパークの雰囲気を出してみました。

「北野天満宮 季節のいろどり 春と夏」
大藏 裕貴
北野中学校



僕は、この作品を描いた理由として二つあります。一つ目は、この町の美しい景観を伝え、守っていききたいからです。その一つとして北野天満宮を描きました。この作品には、北野町の季節のいろどりを感じて頂きたいので、右には桜を、左には春から夏へと姿を変えた木々を表現しました。北野天満宮は季節から季節の変わり目が美しく、心を豊かにし、新たな発展した思考を与えてくれます。特に、春から夏にかけてが非常に美しく、僕が一番気に入っているところです。あと、橋は特に印象づけようとしてきました。二つ目は、人が持つ価値観を知りたいからです。他者がどう評価し、感じるかを聞かせて頂きたい。これを見て、ウマイ、ヘタで判断するのではなく、その人がどのような世界観、思考、個性を生かしているかを感じて学びたい。他者が見る成れ果てとはいかなるものか。故にこのような事を知り、学習したい。道徳力の問題ではなく、何を目的としているか。僕は、人の秘めたる問いを問い直し、着想と世界観を見てみたいからです。

「秋」
山内 直
北野中学校



人が行かないような神社に行って、人が本当にあまりなくて、ガラとした感じがしたので、この景観にしました。それに、時間帯的に日の当たり方が好きだったので、より描く気になりました。木の葉の枯れた色とまだ残っている緑色が、一緒に写っていて、季節の変わり目なんだと実感する景観でした。日の当たらない暗い部分と、日が当たり、より明るさがあるが、目立っている部分とを描き分けるのが難しかったです。朝焼けの中で見た神社は、昼見た神社とは、また違う雰囲気を出していて、少し不思議な気分になりました。空気の冷たさと、木の葉の色が、もう夏ではないのだと思わせてくれました。この景観を描いているとき、その時の不思議な気分や季節の変わり目を実感したときの感覚が、よみがえりました。

H26
年度